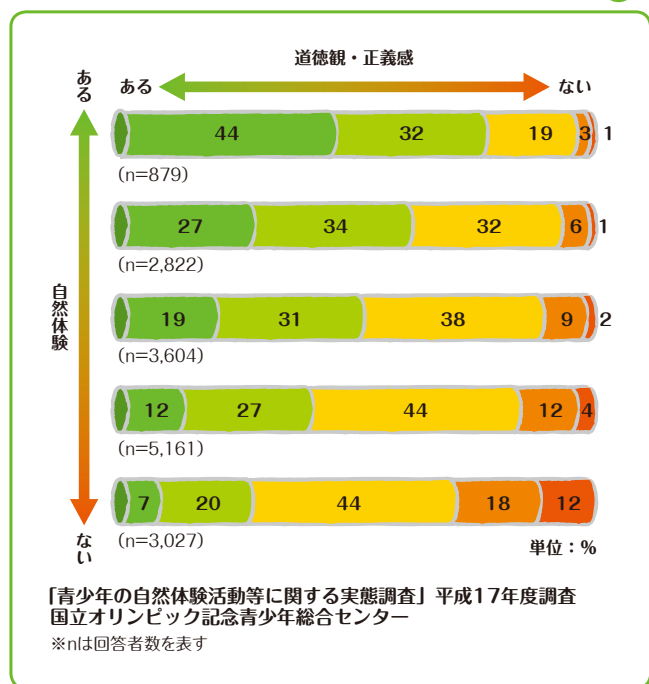


体験活動が 生きる力を はぐくむ!



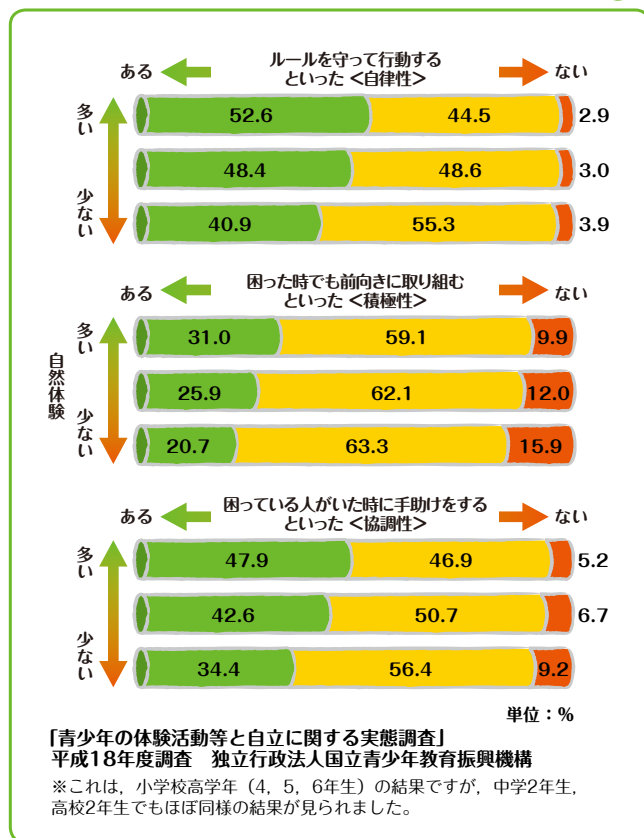
自然体験の多い青少年は、 道徳観・正義感が身に付いている

全国の小学生、中学生、高校生約3万人を対象に調査したところ、「チョウやトンボ、バッタなどの昆虫をつかまえたこと」や「太陽が昇るところを見たこと」といった「自然体験」が多いほど、「バスや電車で体の不自由な人やお年寄りに席をゆずること」や「友達が悪いことをしていたら、やめさせること」といった「道徳観・正義感」が身に付いているという結果が出ています。



自然体験を多くしている 青少年ほど、自立している

青少年の問題として、主体性がなく受身であることや学習意欲が低下していることが挙げられ、青少年の意欲を高める方策が求められています。そこで、体験活動と自立に関する意識の関係について、全国の小学生、中学生、高校生約2万人を対象に調査したところ、「自然体験活動を多くしている青少年ほど、自立している青少年が多い」という結果が明らかになりました。



自然体験をすると、 学習意欲が高まる

東京都品川区、同日野市、岐阜県美濃市、同笠松町の小学生、中学生、高校生約1,400人を対象に調査したところ、「自然にふれる体験をすると、勉強をやる気になる児童・生徒は多い」という結果がでています。

